

上毛新聞

創刊130周年記念

ACT BEYOND BORDERS

鶴舞う者たちプロジェクト

"鶴舞う形の群馬県"に暮らす
 私たち一人一人は1羽の鶴です。
 群馬のDNAを持ち、世界で羽ばたく鶴たちや
 世界各地から群馬に飛来した鶴もいます。

本県に暮らす外国人は約5万人。
 共に力を合わせて翼を広げよう。

群馬の新たな魅力を見つけ
 一緒に未来を考えてみませんか。

INDEX

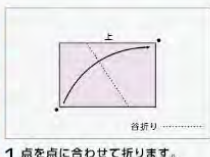
羽ばたく鶴たち	2-7P
群馬の中の"世界"	9-17P
世界の食卓から	19P
飛来地はGUNMA	21-23P

企画・制作/上毛新聞社東京支社・営業局編集部

折り方が動画で見られます。



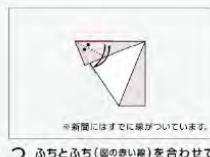
① スマホでアプリ「上毛新聞AR」をダウンロード(無料)
 ② アプリを起動し、それぞれの折り方のイラストを画面に写します。



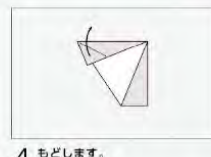
1 点を点に合わせて折ります。



2 ふちに合わせて折ります。



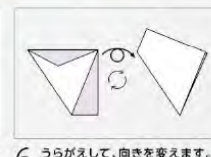
3 ふちとふち(山のせい線)を合わせて途中まで折り目をつけます。



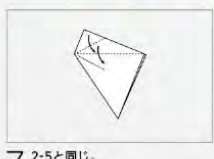
4 もどします。



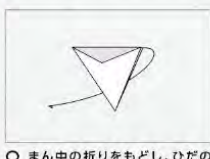
5 折り目によって、2回谷折りします。



6 うらがえて、向きを変えます。



7 2-5と同じ。



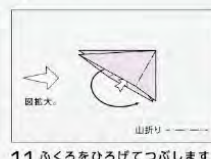
8 まん中の折りをもどし、ひだのあるほうを手前にします。



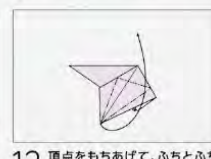
9 ふたつ折りにします。



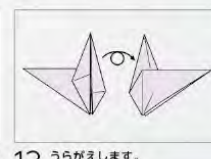
10 ふたつ折りにします。



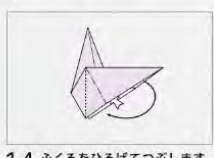
11 ふくろをひろげてつぶします。このとき中心線は、ずらしません。



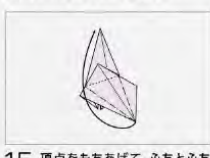
12 頂点をもちあげて、ふちとふちをそろえて平らにたたみます。



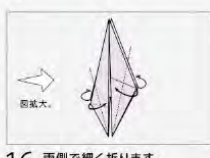
13 うらがえます。



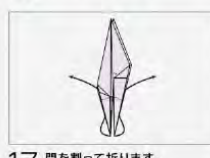
14 ふくろをひろげてつぶします。このとき反対側にあわせませす。



15 頂点をもちあげて、ふちとふちをそろえて平らにたたみます。



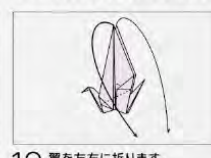
16 両側で細く折ります。



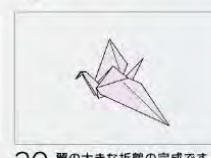
17 間を割って折ります。



18 ちいさく中割り折ります。



19 翼を左右に折ります。



20 翼の大きな折鶴の完成です。

「真の自分に
成る事は怖い。
怖いので逃げると
人が拾うんだ。
あなたほじりだらう」

山口晃



- ♡ 群馬のこれが好き(住に桐生) ♡
- ・よく行く場所 異国調菜 芭蕉 (桐生市内のレストラン)
- ・お勤めスポット 桐生が岡公園
- ・インスピレーションを受ける場所 桐生のごちゃっとした街の裏手

撮影地/東京・台東区上野公園の東京芸術大

日本画、西洋画、それとも現代美術なのだろうか。時空も環境も軽々と超えた作品は美術鑑賞の初心者でも親しみやすく、観る人に強烈な印象を与える。一方で、理解したと思えばくたに難解となり、遠い場所へと浮遊する。「現代の大和絵師」とも呼ばれる画家、山口晃さん(48)は明治以降に西洋から入ってきた「美術」と対峙し、日本人の内発性による「日本の画」を開拓してきた。「怖さの中に飛び込むと、全き(真の)自分にしてくれる何かがある」

◇ 渡良瀬川に架かる鉄橋をもくもくと煙を上げて走る蒸気機関車が、父親の撮影したフィルムに今も残っている。実物を観てお絵描きしたのだろうか。機関車を描いた広告の裏側に「晃、3歳10カ

月の書き込みがある。東京で生まれ、3歳で両親の古里である桐生に移り住んだ。お絵描きが大好きな子供、かかっつけの耳鼻咽喉科の近くにあった模型屋では飛行機やロボットだけでなく住宅模型にも惹かれ、家に帰れば住居のチラシ広告を探し、間取りを指で走りながら「たたいま、理想の世界に遊んだ」

◇ 桐生高2年生で出た文芸評議、村光夫の著作「移動」の時代、がその後の人生に大きな影響を与えることになる。明治期の工業輸入システムが他のジャンルにも波及し、外国のムーブメントに反応しすぎたため日本の内発性がおかしくなり、それが念のため踏襲されて文学の内発性が失われてしまっている

◇ 苦悩の末、手にしたのがクラフト紙とサインペン。子供の頃に立ち戻った。実は予備校や大学での「美術」とは別に、1人の時間の、お絵描き「はずっと心の拠り所もあった。「果たして、表舞台の『美術』としてやっていけるのか?」躊躇しつつも、腹をくくって怖さの中に飛び込み、大学3年の時に発表したお絵描き、それが意外にも評価された。「体を鍛えれば、かつての絵師の心持ちが分かるかもしれない。素地の無い紙を自ら始めたのは、山水画など日本古来の形式を咀嚼、踏襲すること。「型模写」を繰り返して繰り返し、やがて

◇ 挑 戦

そこに内発性を見出す。画家 山口晃の布石となった。「日本人は盆のような月を描くことができない。自らの評価軸を自ら持つ人任せにしない。室町時代、中国由来の墨絵から書舟ら先達が水墨画を確立したように、現代の『日本の画』を追求する日々。挑戦は今も続いている。」

山口 晃(やまぐち・あきじ) 1969年東京生まれ。3歳から桐生高卒業まで桐生で育つ。東京芸術大大学院美術研究科絵画専攻(油画)修士課程修了。2013年創立館林美術館で個展開催。岡本太郎記念現代美術大賞優秀賞、小林秀雄賞、上毛美術文化賞など受賞。



YAMAGUCHI AKIRA

画家



「百貨店前 日本橋 新三越本店」2004年/紙にペン、水彩 ©YAMAGUCHI Akira, Courtesy Mizuma Art Gallery

羽ばたく鶴たち

夢を追って古里を飛び立った3人の上州人。平和構築や現代美術、多言語で表現する落語…。花開いた才能と能力を手に国内外で活躍している。遠くから眺める古里はどんな姿に映るのだろうか。独自の技術と高品質で世界に輝く群馬発のものづくりとともに紹介する。

2~7面



SEYA RUMIKO

日本紛争予防センター理事長



ケニアの国内避難民の子供たちと瀬谷さん(左上)

撮影地/東京文京区の日本紛争予防センター前



瀬谷ルミ子

人生の選択肢は
期限がくる前に
活用しよう。

感謝

のどかな里山の近くで生まれ育った。異国の厳しい環境に順応できるのも自国の中で遊んでいたからかもしれません。危険が伴う将来の夢を後押ししたのは母親の初江さんだった。海外旅行もしたことがなかった家族でしたが、両親

ルワンダやアフガニスタンなど世界の紛争地の復興支援組織のため武装解除勧奨隊、社会復帰DDRに携わってきた瀬谷ルミ子さん(40)。現在は都内のNPO法人「日本紛争予防センター」(JCCP)の理事長としてシリア難民や南スーダンの国内避難民を支援するほか、アフリカで争いを未然に防ぐ取り組みに取り組んでいる。JCCPがあるのが、な住居地で穏やかに暮らす人がいる。今も紛争地を巡る人がたがっている。その進路を躊躇なく見据えている。

共存

留学先のイギリスで紛争解決学を学んだ後、最初の活動の地として選んだのはルワンダだった。現地のNGOで職員として働き経験を積んだ200万人規模の難民を生んだルワンダも現在奇跡的な復興を遂げた。県内では館林市周辺にミャンマーの少数民族「ロヒンギャ」が弾圧を逃れて移住している。難民問題は遠く離れた国の問題ではない。難民と聞くかわいそう、怖いといった印象を持つ人もいるかもしれませんが、多くの方は母国で職を持ち、普通に暮らしてきた人たち。彼らを受け入れて文化を学び、持っている力を活用することで地域の発展にもつながる。

日本紛争予防センター(JCCP)はマンスリーサポーター(月500円)や書き損じはがきの寄付など、さまざまな形で支援を受け付けている。詳しくはホームページ(<http://jccp.gr.jp>)へ。

瀬谷ルミ子(せや るみこ) 1977年 新里村(現 桐生市 新里町)生まれ。前橋女子高校 中央大。英ブラッドフォード大紛争解決学修士課程修了。ルワンダやエチオピアなどで国連PKO、外務省NGO職員として紛争後の復興、兵士の武装解除など携わる。

♡ 群馬のこれが好き ♡

- ・スポット アーツ前橋
- ・食べ物 ソースかつ丼、群馬の新鮮な野菜
- ・上州人は…「動き者の女性が多い」



上州は世界をつながっている

落語家



SANYUUTEI RYURAKU

落語家



2014年に群馬大級の演劇祭「フンスナウイニヨン」フェスティバルに参加した落語家師匠(中央)両脇は仲間のフンスナウイニヨン

8カ国語を駆使して海外公演を行う前橋市出身の落語家、三遊亭竜楽さん(59)は日本屈指の国際派。日本の風習や文化を知らない外国人に「演目さえ選べば絶対にウケる」と自信をのぞかせる。「世界に出た時、上州人の『気取らない付き合ひ』が武器になる」

扇子でタバコを吸むしくさは古典落語に欠かせない見立ての一つ。類を膨らませてぼつと思を吐けば、観客は導かれるように想像の翼を広げる。キセルを知らない人も「パイプのようなモノ」を連想し、思い思いの落語の世界が動き出す。

決断

初演は2005年の伊・フィレンツェ。字幕の予算が無くて、日本文化を研究するイタリア人のローマ大教授の翻訳を丸暗記した。その話が学芸者の間で評判を呼び、ヨーロッパを巡るツアーへと広がった。気が付けば欧州各国で約180回の高座に上っていた。

前橋市のまちなか、弁天通りの商家住まれた、小学校入学を機に郊外に移り住み、近くの雑木林で自然を相手に遊んだ。その体験は発想力や企画力、瞬時の判断力が求められる落語の世界にも生きている。

会場で話すのが大の苦手だった学生時代、英語の弁論大会で代表に選ばれた。英語の弁論大会で代表に選ばれた。英語の弁論大会で代表に選ばれた。英語の弁論大会で代表に選ばれた。

落語の出合いは高校1年生。父親が誘って来た五代目古今亭志ん生の功利的なトレープを夢中で聴いた。中央大学法学部に進後は法曹界を目指す。司法試験への挑戦を重ねたが、26歳で大きな決断を下した。「受験は親の期待に応えたいからだけ。今まで積み上げたものを手放して、人生をリセット」

トするために誰かが考えられない世界に行くことが必要だった。それが落語家だった。

気質

五代目三遊亭内業に入門。翌日、弟子部屋で朝起きると、目の前に限らない大地が広がっていた。「自力で人生を切り開いていけ」と思った瞬間だ。落語を覚えるだけで精いっぱい。「最初の10年、15年は全然ウケなかったが、辞めたいと思ったことは一度も無い。転機となったのは東西交流会の参加。日本で一番外国人が喜ぶしやすいいわゆる大阪は、気の置けない付き合ひを大切にしている。鮮馬の気質と似たところがあり、水にもすぐ慣れた。派手で大きな演技が求められる大阪での公演を重ね、落語の根幹は演技。言語にこだわるより、表情や手ぶら身ぶりというツールを磨いたほうが伝わる」と気付いた。それが海外公演の土壌になった。

海外人に日本の文化を説明するのは難しい。しかし最小限の詩で演技を工夫し、大きな想像のキャンバスを提供すれば、観客たちは自在に絵を描き、文化の壁を軽々と乗り越えてゆく。「一人一人のイメージが大きく違っていても、誰も争わない。けんかもしない。落語は世界平和ともつながっている」

三遊亭 竜楽(さんゆうてい りゅうらく、本名柳井淳嘉)やない、あつよし) 1958年前橋市生まれ。新島学園高1中央大。86年故・五代目三遊亭内業に入門。92年真打ち昇進。2008年から海外で字幕・通訳無し現地語公演を始める。前橋市と中之条町の観光大使。東京都墨田区在住。

撮影地/東京、渋谷区広尾のオフィスまめか

- ♡ 群馬のこれが好き ♡
- ・スポット 広瀬川周辺の風景、四方温泉
 - ・食べ物 麺類と焼きまんじゅう
 - ・上州人は…「ちょっとワイルドな江戸っ子」

※弁天通り大七寄席(前橋市)が12月9日(午後1時半と4時半)に開かれる。問い合わせはメッセン027-231-6751へ。

SUBARU

の存在となったSUBARU(スバル)。販売台数は5年連続過去最高で昨年は106万5000台となつ

北米で快走 六連星

た。好調な販売は北米市場で絶大な

人気を得るSUV(スポーツタイプ多目的車)がけん引する。米インディアナ州でも生産されるが、多くは太田市と大泉町にある群馬製作所で造られている。同製作所ではおよそ1分間に3台が生産され、そのうち約8割は海外へ輸出される。

スバル群馬製作所(太田市スバル町)創業100周年の今年、会社名を富士重工業からSUBARUに変更した。

自動車メーカーとしては小さいながら水平対向エンジンとAWD(4WD)による走行性能の高さや高い安全性からキラリと光る唯一無二



「ものづくり群馬」は明治以降の近代化をリードした富岡製糸場の生糸や絹織物の時代から世界を相手に渡り合ってきた。ものづくりのDNAは脈々と受け継がれ、今も独自の技術やオリジナリティーで勝負する「メード・イン・群馬」が世界で輝く。

メード・イン・群馬



輸出向けの左ハンドル車が多く生産されるスバル群馬製作所

永井酒造の日本酒

コース料理に合わせた4種類の日本酒を揃せた「Nassai Style」チカール」を世に提案す。瓶内二次発酵による泡性清酒「水芭蕉ビュア」は、シャンパンのような華やかな味わいが乾杯酒として人気。



海外の航空会社やレストランで採用される「水芭蕉ビュア」

三ツ星レストランで乾杯

純米吟醸が採用され、提供が始まった。両銘柄はフランスの日本酒コンクールでも最高位のブチナ賞を受賞するなど国際的評価も高まっている。

息づくものづくり DNA

本場ハワイで奏でる

三ツ葉楽器のウクレレ

ハワイ音楽に欠かせない癒やしの楽器ウクレレを製造して62年。国内唯一の量産メーカーとして国内シェア7割、月産約1000



音色と弾きやすさを備えた三ツ葉楽器のウクレレ

設立群馬からパーツを送りメイドイン・ハワイとして生産し、現地の人々が手に取りやすい価格帯で高品質なウクレレを提供する。来年には米国本土への輸出を開始する予定。

自社ブランド「ゼファ」で伝統的な技術を基に自由な発想のウクレレを作るなど常に新しいものづくりに挑戦し続けている。

三ツ葉楽器(前橋市上大島町)1948(昭和23)年創業。ウクレレ・家具製造。



世界40カ国で導入されている富士製作所の製麺プラント

富士製作所の製麺プラント

カップ麺や袋麺の製造プラントで国内シェア6割近くを占め、大規模かつ粘り強く顧客手食品メーカーだけでなく海外にも導入される。海外では中国やインドネシアをはじめ世界約40カ国に輸出し、5割近くは即席麺は世界で年間1千億食の需要がある。獲得してきた。1996(平成8)年輸出開始以来、導入されたプラントは800ラインにも及ぶ。即席麺は世界で年間1千億食の需要がある。製造・販売。

40カ国で即席麺製造

文化を創造していく。

群馬の中の「世界」



自然、温泉、グルメ… 地域の宝で おもてなし

2016年の定住外国人数が過去最高を記録した。出身国は109カ国に上り、総人口に占める外国人の割合は全国3位。本県の豊かな自然や温泉を求め、多くの外国人観光客が訪れている。国際色豊かな群馬は、世界の中でどんな光を放っているのだろうか。さまざまな視点から群馬の魅力を見つめる。

9〜17面



四季折々の風景が人々を魅了する宝川温泉(みなかみ町観光協会提供)

インバウンドへの取り組みを推進しているみなかみ町は、18湯の温泉や自然を生かした体験、季節ごとに楽しめるフルーツ狩りなどの観光資源が豊富で人気が高い。個人旅行者を中心にリピーターも増えている。町はインバウンド推進のため台湾・台南市に町職員を派遣するなど、多方面に力を注ぐ。

宝川 世界の十大温泉に

宝川温泉(同町藤原)は、四季折々の美しい景色と溪流沿いの広大な露天風呂の風情が人々を魅了する。特に欧米からの観光客が多く、ロイター通信社が選定する世界十大温泉の一つに選ばれた。同温泉の一軒宿「汪泉閣」の小野与志雄社長(53)は、2000年頃からインバウンド推進に取り組んだ。昨年12月は宿泊者の半数以上が外国人観光客だったという。温泉文化は日本独自のもの。裸の付き合いに抵抗がある外国人のために、混浴風呂で着用する「湯あみ着」を考案した。

体のラインが出ないような素材を用いるなど工夫し、5年ほど前から宿泊客に限り貸し出して好評を得ている。多様な食文化や食習慣を持つ外国人に日本食を楽しんでもらえるよう、食事は「ハーフバイキング」を採用。メイン料理以外は自分で選んで食べてもらう方式だ。従業員も自然と英語に慣れていた

みなかみインバウンド推進

という。今後の課題として暑い時期の誘客や二次交通の整備を挙げる。JR上越新幹線土毛高原駅への直行バスを検討しており「企業努力で解決できる課題はできる限り解消していきたい」と力を込める。**リピーター増 地方にチャンス** 利根川のラフティング、谷川岳の山岳観光など、豊かな自然資源を活用したア

2016年に本県の宿泊施設(従業員10人以上)に泊まった外国人宿泊者の延べ人数は、観光庁によると19万7090人で過去最高となった。県は19年に20万人を目標に掲げており、前倒しで達成する勢いだ。近年、旅先での体験「コト消費」がトレンドとなっており、ソバ打ち、工芸体験、着物の着付け、雪遊びなど多岐にわ

本県の外国人観光客増 旅先の体験が人気

たり、リピーターを中心に人気が高い。日本独自の温泉文化への関心も依然として高く草津、伊香保、水上などの温泉地では、外国人スタッフの雇用や宗教上の食事への対応など、企業努力が図られている。雪のシーズンを前に今年5月、県はオ

ーストラリアで開かれたスキーに特化した旅行フェアに初出展、東京からの近さや雪質の良さをPRした。アジア圏の観光客も雪への関心が高いため、効果的なPR方法を模索。県観光物産課は「市町村や宿泊施設などと連携し、インバウンド受け入れ態勢の強化・整備に向けて力を入れていきたい」と話している。

2016年度の外国人宿泊客数(延べ宿泊客数)は、32カ国2万5千人余りで、東日本大震災後連続して増加。台湾、タイ、中国で63%、台湾・台南市との友好都市協定を締結していることから、台湾だけで36%を占め、日本の修学旅行に当たる「教育旅行」を推進している。今後も県や市町村、隣接する新潟県の観光地と連携しながらインバウンド推進を図り、「19年度は8万人」の目標を掲げている。



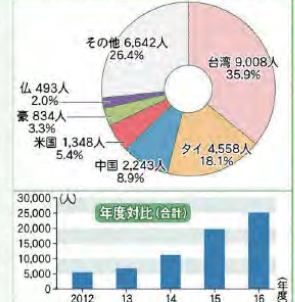
利根川の雄大な流れでラフティングを楽しむ外国人観光客(キャニオンズ提供)

2019年度 8万人が目標

町は2010年にインバウンド推進協議会を設立し、現在約60施設が登録。国内外でのPRをはじめ、海外メディアのモニターツアーを実施するなど幅広い活動をする。16年度の外国人宿泊客数(延べ宿泊客

受け入れ態勢を強化するため、町では15年度に事業者への補助金を交付し、超高速の公衆無線LANサービス「Wi-Fi(ワイファイ)」や洋式トイレなどの施設整備を支援した。今後も実施する予定。

2016年度の主な外国の宿泊客数(延べ宿泊客数)



生かそう 観光資源

ない場所へ行き、地元の暮らしや文化を体験したいから地方にチャンスがある」と分析する。町内にはスキー場が九つあり、シーズンになると雪遊びやバックカントリーなど、多彩な雪遊びが楽しめる。「まだまだ町内には満足できるコンテンツがある。ブランドコンセプトを持ち、プロモーションを強化していくことが重要」と話す。



群馬のいいね、SNSで発信

情報通信技術が発達し、地球の反対側にも自分が体験したことや地域の情報をすぐに伝えられるようになった。会員制交流サイト(SNS)上で話題となれば、世界規模で情報が共有される。県ではこうしたSNSの特長を生かして、県内の外国人留学生と日本人学生でつくる「ぐんまのいいとこ伝え隊」を結成。県内の名所や旧跡を巡り、SNSに観光情報や見どころを投稿。本県のイメージアップを図っている。

ぐんまのいいとこ伝え隊



足湯につかり、仲間と一緒に自撮りを楽しむ(上)。草津ツアーに参加したメンバーら

木々が色づき始めた草津温泉で1日、本年度3回目となる体験ツアーが行われた。県内の学校に通う外国人留学生と日本人学生19人が参加。世界的にも珍しい日本の温泉文化に触れた。



用意された色とりどりの浴衣を選び、着用する際のタプリーである「左前や帯の締め方、着



浴衣の着付けを学ぶ「伝え隊」。粋な着こなし方もしっかり学んだ

ぎをつけて浴衣を選び、楽しんでながら帯と色留めをしていった。若大将の大島寿子さんが浴衣や着物の着付けを学んだウクライナ出身のアナスタシア・スワイティナさん(26)は「(左)に付くも面白い。浴衣は初めて。一番きれいな柄を選びました」と目を輝かせた。着付けが終わると早速、スマートフォンのカメラを向けてお互いの浴衣姿を撮影していた。



「ぐんまのいいとこ伝え隊」は本県のイメージアップとグローバル人材の育成を目的に2012年度から始まった。県内の大学や語学学校などに通う留学生と日本人学生が毎年、SNSに母国語で県内の観光情報や文化を発信している。

母国語でPRする`観光大使`

本年度は中国やベトナムなど6カ国の留学生15人と日本人学生5人が参加、計4回のツアーを開く。6月には桐生で織物や絹文化を学び=写

真上、9月には1泊2日で尾瀬国立公園を散策して雄大な景色を楽しんだ=写真下。来月、国宝で世界遺産の富岡製糸場を見学する。12月はワークショップで今までの活動を振り返る。

若者の国際交流の場としても注目される。本年度の隊員で日本人学生の松村上さんは「将来、ベトナムへ留学するので、お互いに言葉を教え合ったりしている」と話している。



こなしなどを解説した。大島さんから直接、着付けを学んだウクライナ出身のアナスタシア・スワイティナさん(26)は「(左)に付くも面白い。浴衣は初めて。一番きれいな柄を選びました」と目を輝かせた。着付けが終わると早速、スマートフォンのカメラを向けてお互いの浴衣姿を撮影していた。

浴衣に身を包んだ一行は湯けりの中、湯煙を散策。足湯につかり、周辺の店で食べ歩きをしながら、温泉地の雰囲気味わった。中国の古都洛陽市出身でグリーンシツリズムの勉強をしている武井さん(24)は「日本

は歴史ある建築物や自然を大切にしている。千里でも環境に優しいツアーを提案してみたいと話していた。

伝統の湯もみも体験した。50度近い源泉を水で薄めることなく、効能を最大限生かせる状態の温度にする技術を学んだ。湯もみの様子を見るとSNSにアップしていたタイ出身のポーウ・ラッチャノックさん(24)は「日本の温泉に来るのは2回目。観光地の様子をSNSで紹介すると、友達がいっぱい。行ってみたいと返してくれる。伝え隊に参加してからSNSの友達も増えました。うれしそうだった。



興味を引いた場面はすぐSNSに

今年最良

FAKURO OVEN
It's the best to enjoy here
with my love. (My love
is my friend!)

アイベツ フクリ
かごいし屋の最良の食
下は来出屋の最良の食
を撮ることができたらいい

カナダ
カナダ出身 群馬県在住

ケラマ ウォレス
カマツ山出身 群馬県在住

ケラマ ウォレス
It's juicy and delicious!

ケラマ ウォレス
ケラマ ウォレス
ケラマ ウォレス

遊園地によく行きます
どこにも、そばも美味しい!

ベトナム
ベトナム出身 群馬県在住

ベトナム
ベトナム出身 群馬県在住

ベトナム
ベトナム出身 群馬県在住

We love Gunma!

ワタシたちの“群馬の好きどころ”

群馬県には実に、109カ国の外国出身者が住んでいます。
外国人のみならず、“群馬の好きどころ”を開き、
ホワイトボードに母国語でメッセージを書いています。
みんなとてもグンマが好きなんです!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

毎週のスポーツウェア
毎週の新鮮さでも。

TAKESAKI
SPORTS
NIGHT LIFE

タケサキ ハワア
タケサキ山出身 群馬県在住

タケサキ ハワア
タケサキ山出身 群馬県在住

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

My favourite place is
TOMIOKA
SILK MILL

エミリー ナカシ
エミリー山出身 群馬県在住

エミリー ナカシ
エミリー山出身 群馬県在住

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の歴史は
面白い!
Gunma's history
is interesting!
群馬の歴史は
面白い!

群馬の魅力

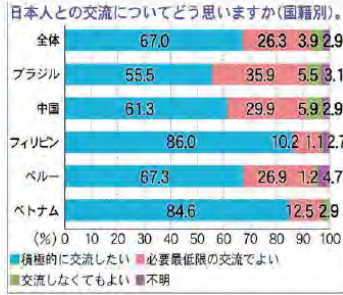
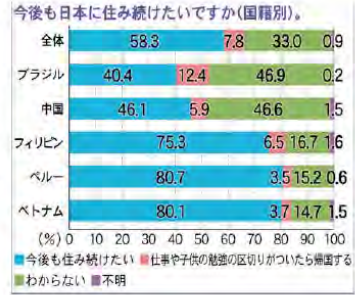
データから見る 国際化の現状

外国人の6割が「住み続けたい」

県が昨年7～10月に前橋、高崎、伊勢崎、太田、大泉の5市町に定住する外国人や日本人住民を対象に行った定住外国人調査で、「今後も住み続けたい」と回答した外国人は58.3%と、6割近くにのぼっている。「仕事や子どもの勉強

の区切りがつかないから帰国する」と回答したのは7.8%にとどまった。「わからない」は33.0%。県人権男女・多文化共生課は「景気の低迷や東日本大震災等の影響はあるものの、大部分の外国人が定住の意識を持っている」と分析している。

日本への定住



日本人との交流

「積極的に」67% 2カ国は8割超

日本人との交流については「積極的に交流したい」が67.0%でトップであり、特にフィリピン人とベトナム人は80%超と非常に高い。積極的に交流したい理由としては「これからもこの地域で生活していきたい」が55.7%と最も多く、

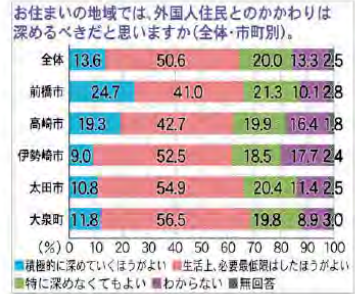
以下「日本の文化をもっと知りたいから」43.0%、「日本人の友がほしいから」37.0%、「日本語を勉強したいから」32.5%という順になっている。同課は「日本人との交流意識は依然として高い」とみている。

「交流深めたい」日本人6割以上

一方、5市町の日本人住民を対象とした調査では「お住まいの地域では、外国人との関わりは深めるべきだと思いますか」という設問に対して、「積極的に深めていく方がよい」が13.6%、「生活上、必要最低限の交流はしたほうがよい」が50.6%で、6割以上

が関わりを深めていくことに肯定的だった。外国人との交流に否定的な「特に深めなくてもよい」は20.0%と少数派だった。「分からない」は13.3%。同課は「外国人との関わりについては、消極的な人が減り積極的な人が増える傾向が見られる」としている。

外国人との関わり



あなた自身は?

若い人ほど 関わりに肯定的

「あなた自身はお住まいの地域で外国人とどのように関わっていきたくですか」という設問に対しては、「積極的に関わっていきたく」が48.3%と、やはり6割が関わりを持ちたいと回答した。否定

的な「あまり関わらないようにしたい・関心がない」という回答は37.4%あったが、前回調査より減少傾向だった。同課は「若い人ほど外国人の増加について肯定的に考える傾向がみられる」と分析している。



結城 恵さんに聞く

群馬大 大学教育・学生支援機構 大学教育センター教授



1996年に専任講師として群馬大に赴任して以来、多文化共生からダイバーシティ(人的多様性)へと研究や実践を続けてきた。群馬大の結城恵教授は、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少している中、ローカルのよさを生かしつつグローバルに展開していく「グローバル」を目標していきたい」と意欲を語る。

当初は外国人比率の高い大泉町を主なフィールドに研究を行った。「多文化共生研究プロジェクト」の陣頭指揮。実態調査や教育、医療、交流、防災、人材育成、情報提供、施策提言と多岐に及んだ。これまでに多文化共生は、「経済的困難に陥った恵まれた外国人に何

多文化共生からダイバーシティへ

研究した、子どもの目線で見るとはもろに、教員や親、行政などの視座を持つことも重要なことだ。現場の人たちがすべて先生だ」と振り返る。所属する教育委員会では、手負えず、全学部の協力を得て、無我夢中で全国に先駆けて「多文化共生推進」を育成するユニットを築き上げた。これまで多文化共生は、経済的困難に陥った恵まれた外国人に何

実も見てきた。「日本人目線で見ると外国人を見ることが、対等に見えていかなければならない。さまざまな交流を通じて、外国人に支えられている自分に気が付いた。いま求められているのは、外国人扱いから脱却し、さい

壁でなかなか師範になれない外国人はたくさんいる。こうした日本人以上に日本文化を愛している外国人から、日本人が学ぶことがダイバーシティの第一歩だ。現在の国の方針は生産年齢人口の欠如を他種との競

ゆうき・めくみ 大府町出身。イリノイ大卒、東京大大学院博士課程修了。グローバル・ハタクラスぐんまープロジェクト企画・運営責任者。さいたま市在住。

ましては、これでは限られたパイから若者を奪い合っているだけで、勝ち組と負け組をつくっているだけ。根本的な解決策にはならない」とみている。群馬には持続可能な資源として自然や温泉など、世界から人を呼べるものがたくさんある。ネットでも世界に呼び掛けることもできる。「他県よりも早くオール群馬で外国人に定着してもらえよう。これからも頑張る」と人材育成に力

プロジェクト①

途切れた放課後学習支援を復活させたい

大泉町や太田市などに住む外国人の子どもの教育支援を行っている。2016年3月からNPO法人を立ち上げ、小学1～6年生30人の子供たちに、平日の放課後を使った支援を行ってきた。日本語や学校の宿題などを自分でできるように支援したり、保護者の就業中の一時預かりや、高齢者施設の慰問など活動は多岐に渡る。

しかし、運営費が重くのしかかり

事業の継続が困難となった現在は、最も大切な「教育」

に絞り、小学生の放課後学習サポートを企業や個人からの寄付で運営し、地域発展を目指している。

理事長の宮崎マルコさんは、「日本のグローバルな成長を後押しし、今後日本に永住する外国人の人材育成は不可欠」と話す。



NPO法人 NO BORDERS
理事長 宮崎 マルコ アントニオ
所在地 太田市由良町971-1
URL <https://www.npo-no-borders.com/>

プロジェクト②

子どもたちに輝いた未来を「日本語教室・未来塾」

伊勢崎市を拠点に外国につながる子どもたちの支援事業「子ども日本語教室・未来塾」を2011年から運営。現在は小学生から20歳までの約60人の参加者を40人のボランティアが熱心に指導している。

群馬県は外国人居住者の割合が高く、日本語を学んで、日本で暮らしていきたいと考えている子どもが多い。きちんとした教育を受ければ、有能なグローバル人材になる可能性を秘めている。

しかし、行政の支援にも限りがあり、活動に制約が出てしまっている。教材が不足しており、特に、小中学生より上の子どもたちが所

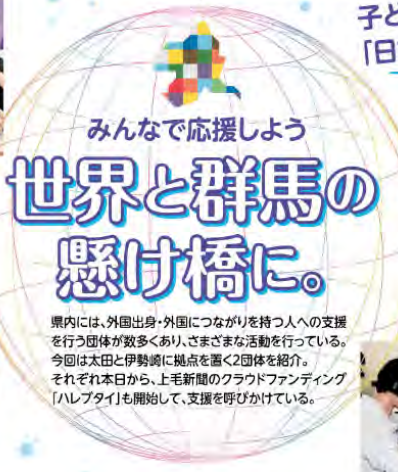


属する「ユースクラス」は継続が難しい。

塾長の高橋真知子さんは、「中長期の支援が必要なプロジェクトであり、10年後には親世代となる今の子どもたちをこれからも応援したい」と意気込む。



NPO法人 Jコミュニケーション
代表 高橋 真乃
所在地 伊勢崎市本町20-1 SOAビル201
URL <http://npo-jcom.com>



県内には、外国出身・外国につながる人への支援を行う団体が数多くあり、さまざまな活動を行っている。今回は太田と伊勢崎に拠点を置く2団体を紹介。それぞれ本日から、上毛新聞のクラウドファンディング「ハレブタイ」も開始して、支援を呼びかけている。



上毛新聞のクラウドファンディング「ハレブタイ」では、上記のプロジェクトを支援して下さる方を募集しています。

★詳しくは、ホームページ <https://greenfunding.jp/harebutai>



地域創生のためのクラウドファンディング クラウドファンディングとは、インターネットを使って、多くの方から少額ずつお金を募り、様々な内容のプロジェクトを実現する方法です。地域をなんとか再生したい、アイデアもある、情熱も人一倍ある。しかし、お金がない!という方へ資金獲得の機会を提供します。誰もが気軽に参加できるという点で、現在欧米では広く普及しつつあり、日本でも少しずつ浸透しています。プロジェクトへの支援には、投資や寄付と異なり、金額に見合った様々なお返し(リターン)を用意しています。「ハレブタイ」は、地域を元気にするプロジェクトを応援します。



土地の食材をおいしく食べるため、独自に考え抜かれた調理法には、各民族の知恵が詰まっている。本県でも移住者が本場の味を提供する店が増え、各国の屋台が集まったグルメイベントも盛況だ。気軽に体験できる異文化交流を楽しんでみよう。

世界の食卓から

各国の屋台一堂に

大泉 ブラジル やペルーなど約50カ国の外国人が住む大泉町では、各国の料理を集めた「活きた世界のグルメ横丁」(町観光協会主催)を毎年開いている。自働の料理や雑貨の販売を通して外国人と触れ合える貴重な場として注目されている。数ある屋台の中で同町の名物になったブラジル料理をはじめ、パプアニューギニア、ネパール料理を味わった。

ブラジル Bbsurrasso (店名にもある「ジュラスコ」)が自働。ジュシナ肉の味わいを生かして、味付けは塩コショウのみ。焼く前に少し



ジュラスコを焼く山本バニバルさん(右)と妻の和子さん。肉は切り方を変えるだけでも味が変わるとい



「エンパナーダは人気のあるファストフード」と話す遠藤さん(右)と夫のジェズ・エミリオさん

伝のレシピだ。

◇パラグアイ Goondrina は、南米などで広く食べられている具入りのパン「エンパナーダ」。同300円の店。具材は各国で異なるが、ニンニクやクミンで風味を味付け、ゆで卵と生ひき肉、タマネギを入れるのがラダアイ風。現地に30年間住んでいたという遠藤孝枝さん(66)が作るおふく味の。

◇ロシア 北彩マートイシノカで販売している「リンチキ」。同300円は、その粉のクレープで定番のロシア料理。ウラジオストク出身で店主の高橋カレリソスをかけて食べる。店主のストレシュー・タバ・マカルさん(33)は中国のものと同味を試してみたと勧める。

カレリソスを販売している「ワリクラサ」では、中国の小籠包に似たチンモンモ同500円に注目。鶏肉とニンニク、タマネギで作ったあんをスパイスで味付け、小麦粉の皮に包んで蒸し上げた後、

文化伝える異国の味

【住所】 高崎市朝町20-1 朝町ビル1階-A
【電話】 ☎027-368-2200
【営業時間】 17時~深夜
【定休日】 不定休
【駐車場】 近隣に有料駐車場あり

だ。どのプレートにもサラダが付くヘルシー。11月上旬からメニューも増える予定。週末はベリーダンスディナーショー(チャージ同500円)を開き、終盤は客も一緒に踊り気分は最高潮だ。カテビさんは「日常を忘れて王様気分楽しんで」と話している。

オリエンタルキッチン トランジ (高崎)

2015年にオープンしたペルー料理店。牛、羊、鶏肉を串に刺して炭火焼きにしたケbabをはじめ、煮込み料理など幅広いメニューを提供している。水たばこも吸えるため、異文化体験ができる。オーナーシェフのカテビ・カムランさんは母国のイランからスパイスや豆、乾燥野菜を輸入し、できる限り本場の味を再現する。一口で食べやすいログメケbab(税込み1198円)＝写真＝は、牛ひき肉のケbabにナンを巻いたもの。「ゴールメサブズィ」(同)は野菜や豆などを長時間とろ火で煮込んだイランの国民食

泰処 セマクテ (前橋)

今年5月に馬場川通りから移転したタイ料理店。店主のテジャサ・プラストットさん(42)はタイ北部のランブーン出身で、自分が食べたい古里の味を提供している。タイ料理は甘味、酸味、塩味といった味覚が混ざり合い、パクチーやミント、レモングラスなどのフレッシュハーブを使うのが特徴だ。辛味と酸味の効いた「トムヤムクン」は世界3大スープの一つとして親しまれている。お勧めは「トムヤム麺」(税込み918円)。写真はエビ2尾付きで同1188円)でエビや煮豚などのトッピング(有料)

【住所】 前橋市千代田町3-6-12
【電話】 ☎027-232-0893
【営業時間】 11~14時 18~22時
【定休日】 月、火曜
【駐車場】 近隣に有料駐車場あり

ができる。「レック麺」(同648円)は丸鶏スープで辛くなく子どもも楽しめる。ひき肉とバジル(ガバオ)の炒め物とご飯がびつたりの「バツガバオ」(同756円)も人気。プラストットさんは「タイ料理を通して多彩なハーブの香りも楽しんで」と話している。

私のまちのひとさら

インカワシ (伊勢崎)

ペルー料理は、世界で最も有名な観光関連の表彰で、美食部門の最高賞を5年連続で受賞した注目料理。9月に伊勢崎で開店した「インカワシ」は本場の味が手ごろな値段で楽しめる。ジャガイモやトウガラシなどの原産地であり、食材に恵まれたペルー。同国を植民地化したスペイン、労働力として19世紀から流入した中国人、日本人の影響を受けてペルー料理は成立した。代表料理はスパイスたっぷりのローストチキン(1羽税込み1650円)。庶民の味「ロモ・サルタード」(同1200円)＝写真＝は牛

【住所】 伊勢崎市昭和町1888 ジュビターA棟
【電話】 ☎0270-75-3539
【営業時間】 11時半~22時
【定休日】 月曜
【駐車場】 有

肉と野菜をしょうゆ味で炒めた品。魚や野菜のマリネ「セビチェ」(同1200円)もお勧めだ。店を切り盛りする金島ロベルトさん・たけしさん父子は「ペルーの文化を伝えたい。店で味を覚えて家で作ってもらえるようになればうれしい」と話す。

レーロイ (太田)

和食と同様、コメが欠かせないベトナム料理。太田市の「レーロイ」はハーブをふんだんに使った本場の味を提供している。ベトナムはコメが年3回収穫できる地域。豊富なコメが米粉の麺フォーやライスペーパーなどを生み出した。自然の状態を重視し、農場を動き回りながら育った鶏などを新鮮なうちに食べるのも特徴。レモングラスやバナナの葉といった自然の恵みも存分に生かす。代表的な料理はフォー(税別750~900円)＝写真。ベトナムでは1日に2度、3度と食べる人もいる。鶏肉や牛肉

【住所】 太田市石原町230-3
【電話】 ☎0276-48-8199
【営業時間】 11~15時 17~22時
【定休日】 月曜
【駐車場】 (祝日の場合は営業) 有

が人気で、鶏がらや野菜をじっくり長時間煮込んだ透明なスープは絶品。ベトナム出身の店長、黄村文貴さん(53)は香草や野菜を栽培。「食材をできるだけ自作し、店の雰囲気ももっとベトナムに近づけ、本格的な故郷の味を伝えたい」と話す。



大泉町文化センター29日に開かれる「大泉カルナバル2017」でも世界各国の料理が味わえる「開いた世界」は、同町観光協会(☎027-368-2200)へ。

手際よくリンチキを作る高橋さん。ほどよい酸味のサウクリウムがプロッコリとよく合う。

スパイシーなチキン。毛豆は注文を受けてからマカルさんが蒸し上げる。



海を越えて上州へ舞い降りた3人の外国人。アート、ラグビー、音楽…。これまで磨いてきた技術と才能で新天地にしっかりと根を張った。第2の古里として選んだ群馬の魅力は何だろうか。3人の今と地元への思い、可能性を聞いた。

21~23面

飛来地はGUNMA

芸術を世界の懸け橋に

アーティスト
アメリカ出身

キール ハーン

PLEASE COME TO GUNMA
TO MEET SOME OF THE
WARMEST, MOST WELCOMING
PEOPLE ANYWHERE.



とても温かく、とても歓迎してくれる人たちにここにも会える群馬へぜひ来てください。



藤岡市鬼石から芸術家の新しいアイデアを発信しようと、キール・ハーンさん(39)はアート・レジデンシー(滞在型の芸術活動ができる「シロオニ・スタジオ」)を開いている。国内外の芸術家に制作と発表の場を提供。ワークショップや地元のイベントに参加し、地元の人と交流を深めながら、日本の古里の原風景が残る鬼石を海外に紹介している。

「来たので、遠くの世界にあっていい国を意識したことはなかったが、大学生の時、日本人留学生の友人ができたことが転機となって、JETプログラム応募。ALTとして兵庫真庭路市で3年間暮らした後、ニューヨークに戻った。

発見

1年間暮らしたが、自己主張を強くしなければ負けてしまふ米国の文化に疑問を感じ、日本へ戻った。「アメリカでは芸術家でも大きな声を出して目立たなければ、誰も振り向いてくれない。日本は一つのものを作り出すためにみんな協力してくれる」。日本人の考え方に新鮮さを感じた。

再来日して、日本人陶芸家のもとで経験を積んだ。「陶器は窯に積む際、仕上がりにある程度、計算することができるが100%ではない。自然の釉薬である灰が思いがけない作

用を引き起こすことがあるので面白い」と魅力を語る。米国人陶芸家のジョン・デイクスさんの紹介で、芸術家の故・堀越千秋さんと知り合い、創作活動を手伝ううちに、堀越さんの窯がある鬼石に移り住むことになった。「千秋さんはとてもパワフルな人。窯に火を入れると5日間くらい眠れないが、千秋さんは隣でパーティーを開いて楽しんでた。成功しても失敗しても、その全てが創作だった」と振り返る。

解放

平野が広がるミズーリにずっといたので、日本に来るまで山を見たことがなかった。今はリラックスできるスポットとして、桜山など周辺の山々でサイクリングや散歩をすることがお気に入りだ。「初めて山に行った時、天国にいるような気分になった。ストレスから解放され、新しいアイデアが生まれてくる」と語

る。堀越さんの窯とともに創作活動の手伝いをしていた茶道家の小堀美由子さんと結婚した。美由子さんの茶席では自作の茶碗を使うこともある。茶席で使われる和傘からヒントを得て、廃材を活用したインスタレーションを制作。刺激し合うことで互いの芸術活動の幅を広げている。

現在、都内にいる美由子さんも来年から鬼石で暮らすことになった。主にシロオニ・スタジオの展示スペースや事務局として活用している元酒蔵の「十一屋」の一角で茶道のワークショップを開く予定だ。「離れ離れの生活に慣れてしまっていたが、一緒に暮らすことになってうれしい。今から待ち遠しそうだ。

キール・ハーン 1978年米国・ミズーリ州出身。2004年に来日。08年から藤岡市鬼石に移住。13年に「シロオニ・スタジオ」を開業。

コタシのお国自慢

- ・スポット フォレストパーク(ザファリパークのような動物園)
- ・食べ物 世界初の綿あめとホットドッグはセントルイス万博(1904年)発
- ・日本文化で慣れない点 本音と建前の区別が難しい

※シロオニ・スタジオの展示会が11月11、12の両日、十一屋(藤岡市鬼石)で開かれる。キールさんの作品のほか、国内外の芸術家が同スタジオで制作した映像や絵画など作品が並ぶ。

群馬交響楽団のチェロ奏者、ファニー・プザルグさん(41)は1998年、縁もゆかりもなかった本県の土を踏み、楽団の一員に迎えられた。故郷のフランスを17歳で離れて英国の大学、米国の大学院を経て来県。以来19年、本県の豊かな自然の中、音楽愛好者らとの交流を通じ、腕を磨いてきた。「演奏を聴いて『生きてよかった』と思うてもらえたら、うれしい」一。こんな思いを胸に、群馬に根差して理想の音を追求する。

音楽にあふれた家庭で育った。亡き父は教師でピアノ愛好家。5歳でピアノの手ほどきを受けた。8歳でチェロに出会い、10歳からチェロ1本に絞った。「チェロは自分の楽器」と思い、小学生のころからチェリストを目指した。父がピアノでよく練習に付き合ってくれた。日本の文化にも興味を抱いた。「安部公房や三島由紀夫、川端康成らを

読んだ。映画もよく見た。フランスの作品は情景や心情をはっきり描写するが、日本の作品は直接的な描写がなく、想像を広げる余地があって新鮮だった」

恋人

ロンドンの大学に進学した時、転機が訪れた。「日本人の恋人ができた。今の夫」

恋人が帰国する際、日本で職を得ることを考えた。オーディションがあったのが群馬。思い切っ受けたところ、無事に合格した。

現在は夫、小学4年の娘と高崎で暮らす。群馬は「東京に近く、自然豊かなところが好き。車で30分も走れば紅葉が楽しめます、日本一の大



Gunma est une région
dont la chaleur humaine,
la nature resplendissante
(spa... montagne...)
et la culture vous épatera!
Venez nous voir...
Face 筑

群馬には人の温もり、輝く自然(温泉や山など)、昔きをびっくりさせる文化があります。私たちに会いに来てください。

都市にも1時間で着く。1日あれば両方が楽しめる」と気に入っている。「秋や冬の青空は宝物。バリなどフ

ランス北部はこの時季、曇りがちの天気になる」という。空っ風にも動じない。「故郷のマルセイユは夏、海から冷たい強風が吹く。空っ風と似ている」と感じている。

理想

群馬の一員として誇らしい気持ちもある。「クラシックにあまりなじみがなかった戦後の日本で立ち上がった楽団。群馬を大切にしたい気持ちが強く、小中学生が3年に1度、演奏を聴ける移動音楽教室という独自の取り組みもある。これからは楽団のルーツや精神を大切に、多くの人と共有していきたい」と決意を新たにしている。

群馬がきっかけで、室内楽グループ「トリオ・アンファリア」を立ち上げるに至った。メンバーは楽団のバイオリニスト、高杉さんと、ピアニストのユリヤ・レヴさん。レヴ

さんは楽団主席チェリストの妻だ。「オーケストラは指揮者の音楽を体現するもの。室内楽は自分の音楽を追求できる。群馬が70年の歴史の中で独自の音を作り上げたように、トリオも特別な演奏ができるようになる。理想の演奏家になるために必要な活動」と説明する。

理想の演奏家とは一。「日々の生活では、つらいことも経験する。演奏の間だけでも忘れてもらえたら、演奏家冥利に尽きる」

ファニー・プザルグ 1976年生まれ。フランス・マルセイユ出身。8歳でチェロを開始。マルセイユ音楽院でチェロや室内楽、ソルフェージュなどを学んだ。英国・ギルドホール音楽院に進学し、卒業後は米国・インディアナ大学大学院にも進み、チェリストの堤剛さんに師事した。98年に群馬交響楽団の奏者に就任。高崎市在住。

生きる喜び 感じる音色を

群馬交響楽団チェロ奏者
フランス出身

ファニー プザルグ

♡ ワタシのお国自慢 ♡

- ・スポット 南仏。マルセイユは2500年以上の歴史がある港町。散策に最適。セザンヌが愛したエクス・アン・プロバンスもある。
- ・食べ物 300種あるフランスのチーズの中で、日本ではあまり見かけないヤギのチーズ、パン、赤ワインと一緒に食べると最高。豚モツのソーセージ「アンドゥイエット」、豚の血のソーセージ「ブダン」も美味。
- ・好きな街 バリのマレ地区。帰国時によく出掛ける。ビクトル・ユゴーが住んでいた地区で古い建物が多く、趣味の良い個人商店やカフェが並ぶ。



撮影地/高崎市・群馬シンフォニーホール

日本ラグビーに恩返し



KI HE TONGA KŌTOA I
SIAPAN NI. MOU'EVA MAI KI
GUNMA NI, KE TALU Ō'Ō
ONSEN MO CAMP KI HE
MO'UNGA. KO E FAKALATA
ATU.
MALO 'ŌFA ATU
RYUKOLUNASI
HOLANI

[Signature]
No. 8

日本にいるトンガの皆さん、ぜひ群馬に遊びに来てくださーい。一緒に温泉、キャンプ行きましょう。

ラグビーW杯2015日本代表
トンガ出身

ホラニ 龍コリアシ

♡ 群馬のこれが好き ♡

- ・スポット 温泉と群馬サファリパーク
- ・食べ物 焼きまんじゅうと太田名物焼きそば
- ・上州は…「海はないけど利根川がある」



南太平洋の島国トンガ王国から海を渡った16歳の少年は、楕円球の威力に引き寄せられ、桜のシャワーを浴びた。ホラニ龍コリアシさん(30)はパナソニックワイルドナイツで育ててもらった日本ラグビーへの感謝の気持ちをエネルギーにグラウンドに立つ。

※ 南太平洋の島国トンガ王国から海を渡った16歳の少年は、楕円球の威力に引き寄せられ、桜のシャワーを浴びた。ホラニ龍コリアシさん(30)はパナソニックワイルドナイツで育ててもらった日本ラグビーへの感謝の気持ちをエネルギーにグラウンドに立つ。

※ 南太平洋の島国トンガ王国から海を渡った16歳の少年は、楕円球の威力に引き寄せられ、桜のシャワーを浴びた。ホラニ龍コリアシさん(30)はパナソニックワイルドナイツで育ててもらった日本ラグビーへの感謝の気持ちをエネルギーにグラウンドに立つ。

もあったが、母の反対を押し切った日本の留学。「ここで頑張るしかなかった」。もう一つ、伯父のノフォムリさんの言葉が背中を押した。「ラグビーやるなら俺を越えて行け」

帰化

高校では3年生で主将になり花園の全国大会で4強入りしたが、進んだ埼玉工大は関東大学リーグの2、3部に所属し、脚光を浴びる機会は無かった。卒業後の第一希望には入団を断られ、ノフォムリさんのついでで練習生として太田市の三洋電機ワイルドナイツ(現パナソニックワイルドナイツ)に入団。桜のジャージーへの階段を上り始めた。

ラグビートップリーグ強豪のワイルドナイツには大学生時代から注目を集めた選手やスター選手が数多く在籍していた。「思い切りプレーしても歯が立たなかった。レギュラーをつかむためには乗り越えるしかなかった」。外国人選手枠を避け出場機会を得るため2007年日本国籍を取得。家族のために

も日本人になった。県内で温泉やキャンプを楽しみ、太田市での暮らしも居心地が良かった。

誇り

豊富な運動量と激しいタックルが、当時の日本代表ヘッドコーチ、ジョン・カーワン氏に認められ08年代表入りを果たした。以後日本代表に欠かせない存在となり、伯父との約束を果たした。左腕に「太和魂」右腕に「トンガの伝統模様」のタトゥーを入れた。トンガ出身の日本人。母国との対戦では気合が入った。「トンガでプレーしていなかった分、『どうだ』という気持ちもある。中学の同級生もいるしね」と笑う。

ラグビーを生業にすることなど想像すらできなかった少年時代。現役選手の終わりが近づきつつある今、日本で教えてもらったラグビーとどう関わっていくか考えている。「一緒にプレーしたメンバーが群馬にいる。一緒に群馬のラグビーを盛り上げたい」。“メード・イン・ジャパン”のラグーマンは日本への恩返しを誓う。



ホラニ・龍コリアシ 1981年トンガ・スクアロファア生まれ。1998年来日。2008年日本代表入りし、カザフスタン戦に初出場を果たした。日本代表キャップ45。身長188cm、体重116kg。妻と1女2男。太田市在住。

撮影地／太田市のパナソニックワイルドナイツクラブハウス